

令和6年度 福智町地域公共交通会議結果

各会議の結果を示す。

① 第1回福智町地域公共交通会議

日時	令和6年5月21日（火）10：00～11：00
場所	福智町役場 3階会議室
参加者	＜出席者＞ 委員：17名 （会長）福智町 副町長：竹下 靖／（副会長）福智町商工会 会長：池田 昇／西鉄バス筑豊株式会社 田川支社 支社長：和多 正範／有限会社プラス観光 代表取締役：石山 吏生／平成筑豊鉄道株式会社 運輸事業部長：石松 祥宏／福智町社会福祉協議会 事務局長 中野 雅浩／福智町行政区長会 会長 松山 榮治／福智町立図書館 ふくちのち 館長：井上 憲治（代理：梅原 美由希）／九州運輸局福岡運輸支局 支局長：古賀 秀策（代理：辻 美貴善）／福岡県筑豊地区タクシー協会 会長：嘉久 礼子／西鉄グループバス労働組合 副執行委員長：熊本 正志／公立大学法人福岡県立大学 人間社会学部公共社会学科・教授：堤 圭史郎／福岡県田川県土整備事務所用地課 管理係長：磯田 靖彦／福岡県田川警察署交通課 交通総務係長：中村 隆博（代理：戸田 智宏）／福岡県企画・地域振興部 交通政策課 課長補佐：三重野 直美／福智町 総務課長：長野 士郎／福智町 健康子育て支援課長：小松 卓美 事務局：5名 まちづくり総合政策課 課長：木村 貴代美／まちづくり総合政策課 課長補佐：犬丸 且久／まちづくり総合政策課 課長補佐：松村 俊明／まちづくり総合政策課 係長：石川 真由美／まちづくり総合政策課 主査：日永田 憲章 ＜欠席者＞ 委員：5名 田川構内自動車 株式会社 総務部長：長井 智章／福智町老人会 会長：松尾 重義／福智町PTA連合会 会長：原口 将光／福智町 高齢障がい福祉課 課長：若林 友克／上野焼協同組合 理事長：高鶴 亨一 （敬省略）
次第	1. 開会 2. 議題 （1）令和5年度事業報告及び決算報告 令和6年度事業計画（案）及び予算（案） （2）令和6年度事業概要 （3）地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請 3. その他
配布資料	資料－1 令和5年度事業報告、令和6年度事業計画（案） 資料－2 令和6年度事業概要 資料－3 地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請（案） 参考資料 「ふく～るバス」運行実績
会議の様子	

令和6年度 第1回福智町地域公共交通会議 議事録

<1. 開会>

【事務局説明】

- ・委員委嘱について
- ・新任紹介
- ・欠席者確認
- ・会長、副会長の選任
- ・福智町地域公共交通会議設置要綱第7条に基づき、会議の進行を会長に一任する。

【会長挨拶】 会長(竹下副町長)

- ・委員の皆さまには平素から福智町の公共交通関係へのご理解とご協力をいただきお礼申し上げます。

<2. 議題>

- 議題(1)令和5年度事業報告及び決算報告
令和6年度事業計画(案)及び予算(案)

【事務局説明】

- ・福岡県立大(堤氏) : 車両の改造時に、運休することはありませんか。
- ・事務局 : 新規の車両のため運行への影響はありません。14人乗りの車両を10人乗りにし、普通免許でも運転可能とする。手すり、荷物置きを設置しラッピングをおこなう予定です。

●議題(1)について承認とします。

- 議題(2)令和6年度事業概要

【事務局説明】

- ・田川警察署(戸田氏) : 運賃の高齢者100円とありますが、高齢者は何歳からで設定されていますか。
- ・事務局 : 高齢者は65歳以上で設定しています。
- ・福岡県交通政策課(三重野氏) : ①利用者の年齢別のパーセントを教えてください。
②利用促進に向けた取り組みは、どの年齢層をターゲットにしているのか教えてください。
- ・事務局 : ①今のシステムでは、細かい年齢の入力はしていないため、正確なパーセンテージは把握できていません。

- ・福岡県交通政策課 (三重野氏) : 100円、200円もわからないのですか。

- ・事務局 : 子ども100円、高齢者(利用者カードあり)も100円なので、金額だけでは年齢の把握は難しいため、今後システム改良の中で、把握できないか検討します。

- ・事務局 : ②ターゲットの年齢層は、例えば温泉施設の利用者で、ご家族連れから高齢者まで全般です。そして、温泉施設で飲酒された方でもタクシー等で帰ることができるチケットができないかも検討予定です。また、フクチ子どもフェスタに関しては、家族連れが中心となったイベントでのPRになるのではと考えています。それ以外でもイベントに参加しPRしていきます。

- ・九州運輸局福岡支局 (辻氏) : 乗合率が3割から5割まで上がり、すごいと感じています。
 ①令和6年3月に利用者数が最多を記録しているが、新規の方が増えたのか、今までの利用者が増えたのか。
 ②月平均の利用者目標回数はどれくらいか。
 ③LINEアプリ開発で、高齢者のスマホの所持率は把握しているか。

- ・事務局 : ①新規登録者数は、毎月約20人前後となってる。乗合率をみると、複数利用が8割で5回以上利用している方が4割を占めているため、今までの利用者が増えているのではないかと考えられる。
 ②福智町地域公共交通計画の中で利用者目標等があり、令和8年度には年間5万人の利用を目標としているので、目標に向け利用者の促進を図っていきたい。
 ③LINE連携について、高齢者のスマートフォンの所有率はつかめていません。

- ・福岡県立大 (堤氏) : 事業を安定的に運営するにあたり、乗合率は重要な指標になり、評価体制を作るのに大事だと思うが、今後システムを入れた際に運転手にデータを取ってもらうような計画はあるのか。

- ・事務局 : システムの改良で、どういうデータをどういう風にとっていくかの検討・計画を進める予定です。

- ・福岡県立大 (堤氏) : 運転手の負担ができるだけ少ないように、安全第一で運行できるような仕組みをお願いします。

●議題(2)について承認とします。

○議題(3)地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請

【事務局説明】

・九州運輸局福岡支局：①議題(3)の地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請とあるが、言葉自体が無くなるのでご注意ください。

②運行回数について、18,000回を単純計算で1日約50回で、実績が3割に満たない場合、補助金の対象になりません。
1日50回以上は走っているイメージでよろしいか。

・事務局：①認定申請について確認します。

②運行回数にいて、車両5台で運行しており、1台平均20回ほどです。
 $353日 \times 5台 \times 20回 = 35,300回$ で、18,000回は確実にクリアできる試算です。

●議題(3)についてと、申請に係る手続きについて事務局と会長の一任で承認とします。

<3. その他>

【事務局説明】参考資料:「ふく～るバス」運行実績

・九州運輸局福岡支局：利用者の反応や声が分かれば教えてください。
(辻氏)

・事務局：令和4年度(令和5年2月～3月)の実証運行でのアンケート結果以外の情報はないが、実証運行を始めた時は、とても便利になったとの声をいただいている。
また、今年度の中間報告の調査でも取りまとめる予定です。

・九州運輸局福岡支局：定期的に運転手と直接話す機会を作り、生の声を把握できるようにしてもいいのでは。

・事務局：運行を委託している社会福祉協議会とは、毎月1回程度会議を行っています。運転手の意見がある場合は、会議の中で話し合うこともあり、利用者の声を伝えることもあります。
運転手やオペレーターと直接話す機会がほとんどないため、今回のアンケート調査を踏まえ、直接意見を聞く機会を設ける予定です。

・プラス観光(石山氏)：新しい車両は電気自動車ですか。ガソリンですか。

・事務局：ガソリン車を購入予定です。

・プラス観光(石山氏)：今後、燃料が高騰し補助金の打ち切りも考えられるので、運行費用がかなり切迫するのではないかと。電気自動車ならコスト的に安くなると思う。
運賃を上げないといけないというような可能性が高くなるため、燃料の高騰等も踏まえて車両購入を考えてはどうか。

・事務局

：現在購入予定の大きさの車両で、電気自動車に対応していないため、今回ガソリン車を選択しています。今後、車両の更新をおこなう際には、電気自動車や補助金の仕組みも変わってきていると思いますので、状況を見据えながら検討を進めます。

<4. 閉会>